

Title	編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第4号)
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (2003), 49(4): 252-252
Issue Date	2003-04
URL	http://hdl.handle.net/2433/114938
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

今年の日本泌尿器科学会総会が徳島で開催された。おもしろい特別企画が計画されていたが、特に「これからの医学教育」と「先端医療と社会と生命倫理」を興味深く聞かせてもらった。

アイオワ大学の木村教授、東海大学の黒川教授の明快で歯切れのよい質疑応答を聞いていると、日本の医療体制と医学教育の未熟さを痛感する。その一方で、日本の医療システムがそれほど非難されるような欠陥品なのか（アメリカのシステムが胸を張れるほど良いものなのか）という素朴な疑問や、そして、医療人がこんなに一生懸命働いているのに、何故良い方向に向いていかないのかという、何ともやりきれない思いも沸き上がってくる。

生命倫理では、勝木先生の「人間の限らない欲望」という言葉が印象に残った。「いけいけどんどん」で突き進む研究者が多い中であって、先端医療の方向性に警鐘を鳴らす立派な見識であると思う。今や、臨床の実験室レベルの設備でもクローン人間の作成は理論上可能である。特に、我々泌尿器科医は、移植医療、生殖医療に深く係わっており、ひとりひとりの倫理観が大きく問われる時代になってきていると思う。

このふたつの企画の根本に存在するものは、「健康（生命）に対する考え方」であるように思う。我々が昔から大切にしてきた日本人の伝統的な価値観、生命観をもう一度見直してみたい。

（小川 修）

泌尿器科紀要 第49巻 第4号 2003年4月25日 印刷 2003年4月30日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
